

おすすめ本

別海町が舞台の
絵本が出版されました

『たいせつな
ぎゅうにゅう』

キッチンミノル 著 白泉社

私たちがいつも飲んでいる牛乳はどのように作られているのでしょうか。たんぽぽ牧場で過ごす牛たちや乳しぼりなどの様子を人気写真家が取材しました。「牛乳ができるまで」の牧場の一日を伝える写真絵本です。ぜひご覧ください。



たんぽぽ
からの
贈り物



手作り布絵
本サークルた
んぽぽから81

作目となる「このはなな〜に?」が寄贈されました。

さまざまな種類の花が細かく再現されています。

たんぽぽの皆さんありがとうございました。

小さい子の
お話の時間

図書館職員が赤ちゃん絵本の読み聞かせや手遊びをします。

■日時 9月3日(金)、10日(金)、17日(金)、24日(金) 午前11時から午前11時15分

■場所 図書館「お話のコーナー」 ■対象 0歳から3歳程度

※密集を避けるため、参加は先着3組までとなります。



9月の夜間
開館日

3日(金)、10日(金)、17日(金)、24日(金)
午前10時から午後7時(試行中)

※月末休館日は、図書整理等のため休館させていただきます。
※休館中の返却は玄関横の返却ポストをご利用ください。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、各種予定が変更となる場合があります。

9月の休館日 6日、13日、20日、21日、23日、27日、30日(月末休館日)

10月の休館日 4日、11日、18日、25日、28日(月末休館日)

問合せ／図書館
TEL 75-2266 FAX 75-0506
Eメール tosy@betsukai.jp

郷土資料館だより サマースクール

「大昔のべつかい
まが玉作りに挑戦しよう!」
を実施しました。

8月6日に参加者10名で古代の装飾品まが玉づくりに挑戦しました。滑石(かっせき)という古代から使われている比較的削りやすい石を使いました。3種類の紙やすりを使い2時間ほどかけて削り、まが玉を作ることができました。大昔にべつかいでも生活していた古代の人々の偉大さを感じた一日となりました。



郷土資料館から

9月の休館日 4日、5日、13日、16日、18日から20日、23日、27日

10月の休館日 2日、3日、11日、16日、17日、25日、30日

問合せ／郷土資料館
TEL・FAX 75-0802
Eメール kyoudo@betsukai.jp

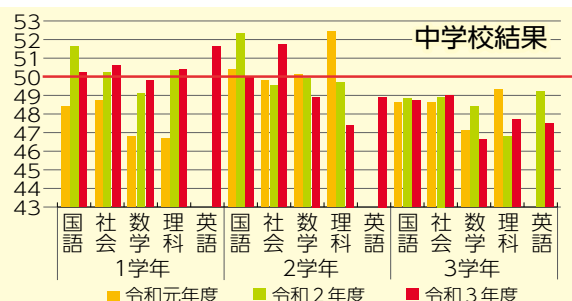
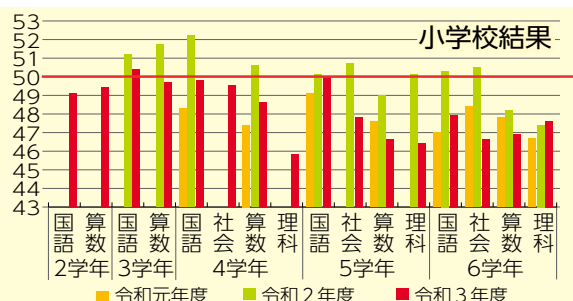
本年度の小・中学校の標準学力調査の結果について

本町では、国が実施している「全国学力学習状況調査」に加え、町内児童生徒の達成状況を確認する「標準学力調査」を独自で実施しています。

■調査の概要について

- 実施日 5月10日、11日 ■実施学年 本年度町内全小学校第2学年から中学校第3学年
- 実施教科 小学校（第2学年、第3学年）国語、算数
（第4学年、第5学年、第6学年）国語、社会、算数、理科
中学校（第1学年、第2学年、第3学年）国語、社会、数学、理科、英語
- 内 容 前年度学習した範囲（例）小学校第6学年であれば、前年度第5学年の学習内容
- 目 的 児童生徒の学力向上を図るため、授業方法の改善や学習方法の改善に役立てる。
- 留 意 点 ①調査結果は「学力」の一部であり、学校における教育活動の一側面であることに留意すること。
②全国の平均正答率との比較により、序列化や過度の競争をおおることのないよう留意すること。

■今年度の結果 ■同一集団の令和2年度の結果（例）小学校第6学年であれば小学校第5学年時の結果
■同一集団の令和元年度の結果（例）小学校第6学年であれば小学校第4学年時の結果
全国平均 — を50としたときの、町内小中学校の各教科平均値



■本町の概要

本年度は、全学年・全教科（小16教科・中15教科）中、8教科が全国平均以上となりました。昨年度との比較では4教科減りましたが、令和元年度以来の3カ年にわたる経年変化から分析すると、上向きの傾向にあります。各学校における授業改善や家庭学習の取り組みの強化が、一定の成果を上げているものと考えられます。

問題別の傾向では「活用」の問題の改善が見られ「基礎」と「活用」のバランスがとれてきています。「活用」の問題は全国的に低い傾向にありますが、本年度の本町は、全国平均と近似または上回る教科が見られました。

一方、学年が上がるにつれて、平均値が低くなる傾向にあります。各学年の学習内容の確実な習得や、積み上げが不十分であり、難易度の上昇へのさらなる対応が必要である実態が、明らかになっています。

■今後に向けて

現行の学習指導要領において重視されている「主体的、対話的で深い学び」や「協同的な学び」「個別最適な学び」の環境を目指して、本町においても各学校での授業改善や、校内研修を実施しています。特に、本町では、学習におけるすべての基礎としての「学びの土台」を重視し、各学校の教育活動の重点として位置付けています。そうした取り組みを通じて、児童生徒の学びの質の改善が図られていると考えられることから、町として次の取り組みを継続します。

【課題であった「読解力」のさらなる向上を図る】

日頃から「多くの書物等を読むこと（多読）」が重要です。また、読解力の向上には、読書だけでなく、非連続型テキストと言われる写真や図などが入った新聞等、種類の異なる複数情報を読むことで効果が上がります。そのため、本町で「学びの土台」として取り組んでいる「読書活動」と「別海町新聞の日」等、新聞を教育に活用する「NIE (Newspaper In Education)」を引き続き推進します。

■より意欲的、主体的な学習を目指して

この標準学力調査では、全学年・全教科において、学年や学級だけではなく、児童生徒一人一人に合わせた復習教材がAIにより提示されます。個別最適な学習教材として日常的な学習に生かしてください。また、本年度から、NIEの一環として「どうしん記事データベース『まなbell』」が全校で利用できるようになっています。一人一台端末の家庭への持ち帰りも順次検討していきますので、より意欲的で主体的な家庭学習の一助になればと考えています。

別海町教育委員会 TEL75-2111（内線3503）